

令和元年度 居宅サービス事業所連絡会 第3回実行委員会 会議録

日時；令和2年1月17日（金）10：00～11：40

場所：高松市社会福祉協議会

参加機関：高松市障がい福祉課、ニチイケアセンター福岡町、高松市社会福祉協議会、支援センタークリマ、基幹中核、計5名

議題1 第2回連絡会（サ責研修会）の振り返り

・久しぶりの事業所や初参加の事業所も複数あった。

【アンケート結果より】

・実施時期は月末より中旬で実施できるよう検討したい。

・「事業所の実地指導について」のコマについて

→時間が15分と短かった。短い時間でもこの辺りのことを話して欲しい、というポイントがあれば伝わりやすかったのではないか。

・「サ責の苦勞とやりがい」のコマの評価が一番高かった

→参加者同士の交流、共感、自分の仕事の振り返りができる時間になった様子。

・介護保険と障害福祉サービスの対応の違い（介護保険では、プランに書かれた業務内容以外のことは対応できない、障がいは多少の幅が含まれることがあること）から、「身体介護・家事とかの内容も相談支援の人と一緒に確認してほしい」との意見があった

→以前実行委員会で作成したチラシ「ヘルパーができること・できないこと」を協議会ホームページで公表して活用してもらいたい→次回運営会議で相談。

議題2 来年度連絡会の計画

これまでの連絡会の中から考えられる課題として、求人を出しても応募者が来ない、離職してしまう（ヘルパー不足）、身の危険を感じるケースやキャンセルが続くケースの対応などに悩んでいる状況があった。

→圏域内の居宅サービス事業所に「困りごと調査」のアンケートをし（上半期）、これを基にサ責研修（下半期）の内容を考え、実施する（連絡会の実施はサ責研修の年1回のみ）。